



Fimela の農村普及センター (CERP)。
内部には古びた机があるのみ。

目 次

序 文 写 真

1	調査団の派遣	1
1 - 1	調査団派遣と目的	1
1 - 2	調査団構成	1
1 - 3	調査日程	2
1 - 4	主要面談者	2
2	要約	4
3	暫定実施計画の進捗状況	6
3 - 1	各協力分野の進捗状況	6
3 - 2	建物施設等	8
3 - 3	専門家派遣	8
3 - 4	研修員受入	8
3 - 5	資機材供与及び利用状況	8
3 - 6	ローカルコスト負担事業	8
4	活動計画 (Plan of Operation)	9
5	事業運営上の問題点	11
6	調査団所見	12

付属資料

1	協議議事録 (Minutes of Meeting) 英文	17
2	協議議事録 (PROCES-VERBAL DE LA REUNION) 仏文	32
3	PDM 及び PO 和文仮訳	48
4	年次活動計画 (Annual Plan of Operation) 案及び和文仮訳	54
5	プロジェクト実施体制	62
6	カウンターパートリスト	63

1 調査団の派遣

1 - 1 調査団派遣と目的

セネガルでは、農耕地開発、森林伐採などにより森林植生が減少し、土地の劣化、農業生産への影響が深刻化している。このような状況に対し、セネガル政府は森林行動計画を策定し、森林保全・植林事業を推進しており、我が国は緑の推進協力プロジェクト（青年海外協力隊）や苗木育成場整備計画（無償資金協力）他により支援してきた。

これら背景のもと、セネガル政府は、地域住民の参加と責任による植林を促進するために我が国にプロジェクト方式技術協力を要請してきた。1998年12月の事前調査ならびに1999年8月の実施協議調査を経て、2000年1月より5年間、地域住民が主体となった村落林業・村落振興の普及モデルを開発することを目的としてプロジェクトが実施されている。

本調査団では、1999年8月に締結された討議議事録（Record of Discussions ; R/D）に基づき、現在までの進捗状況及び問題点を把握し、今後の協力期間中に実施する活動の具体的な内容についてプロジェクト及び相手国政府と協議し、プロジェクトデザインマトリックス（Project Design Matrix ; PDM）・活動計画（Plan of Operation ; PO）を作成する。協議内容をモニタリング・評価計画書として議事録（Minutes of Meeting ; M/M）にまとめて署名することを目的とする。

なお、本調査団派遣に先立ち、プロジェクトサイクルマネジメント（Project Cycle Management ; PCM）手法担当の短期専門家を派遣し、PCMワークショップを通じてPDM・POを検討する。

1 - 2 調査団構成

宮川 秀樹	総括	JICA 森林・自然環境協力部次長
松下 香	計画管理	JICA 森林・自然環境協力部森林環境協力課 職員

1 - 3 調査日程

2000年8月7日～8月20日（14日間）

	月 日	行 程	備 考
1	8 / 7 Mon	成田 パリ	
2	8 / 8 Tue	パリ ダカール	
3	8 / 9 Wed	JICA 事務所打ち合わせ、在セネガル日本大使館表敬、水・森林・狩猟・土壌保全局表敬	
4	8 / 10 Thu	PCM ワークショップ	Thies
5	8 / 11 Fri	同上	Thies
6	8 / 12 Sat	同上	Thies
7	8 / 13 Sun	資料整理	
8	8 / 14 Mon	M/M 協議	
9	8 / 15 Tue	現地調査（Fimela）	セネガル祝日
10	8 / 16 Wed	M/M 協議	
11	8 / 17 Thu	現地調査（無償植林サイト）、APO とりまとめ	
12	8 / 18 Fri	M/M 署名、JICA 事務所報告、ダカール出発	
13	8 / 19 Sat	パリ	
14	8 / 20 Sun	成田	

1 - 4 主要面談者

(1) 環境省

Lamine BA

Minister, Ministry of Environment

(2) 環境省 水・森林・狩猟・土壌保全局

Ndiawar DIENG

Director

Ababacar BOYE

Deputy Director

Leon DIATTA

Project Manager

Ousseynou SECK

Assistant Project Manager / Community Forestry

Salif NDAO

Micro-realization / Gender and Equity

Oumy NDIAYE

Advisor (Gender)

Amsatou NIANG

Advisor (Community Development)

Souleymane BA

Secteur Nioro

Moussa FALL

Secteur Dakar

Lamine GUEYE

Secteur Fatick

Souleymane GOUDIABY	Brigade Paoskoto
Maxime Anatole DIATTA	Brigade Diamniadio
Abdoul DIALLO	Brigade Fimela

(3) フィメラ総合農村普及センター (Region Fatick / Department Fatick)

Ngor DIOIF	Chef
Fatou Mbengue SECK	Monitorice rurale

(4) パオスコト総合農村普及センター (Region Kaolack / Department Nioro)

Bouna CAMARA	Chef
Mareme Diop NDIAYE	Monitorice rurale

(5) ジャムニャージョ総合農村普及センター (Region Dakar / Department Rufisque)

Papa Gamou SALL	Chef
Mme Kandji Dieynaba DIANTE	Monitorice rurale

(6) 在セネガル日本大使館

島崎 和久	書記官
-------	-----

(7) JICA セネガル事務所

黒川 恒男	所長
天野真由美	次長
内島 光孝	所員

(8) プロジェクト長期専門家

天谷 一郎	チーフアドバイザー / 村落振興
菊山ひじり	社会・ジェンダー / 業務調整
堀田 圭一	村落林業

(9) JICA 長期専門家

藤村 武	苗木育成場運営
------	---------

2 要 約

本運営指導調査の主たる目的は、プロジェクト開始から半年余り経過した現時点で、これまでのプロジェクト活動の経験をも踏まえ、実施機関である水・森林・狩猟・土壌保全局（以下森林局）とともに PDM および PO の作成を行い、モニタリング・評価計画書として取りまとめて M/M により確認することである。

セネガル側との M/M 協議に先立ち、プロジェクト専門家およびセネガル側関係者による PCM ワークショップが1週間にわたって開催され、その中で PDM および PO の素案が作成された。調査団としては本ワークショップの結果を最大限に尊重しつつ、かつ、昨年調印された R/D のマスタープランと大きな齟齬が生じることのないよう配慮しつつ協議を進め、別添の PDM および PO について相手側と合意に達した。

今回作成された PDM は R/D のマスタープランを基本としながらも、これまでのプロジェクト活動の経験等に基づき、いくつかの点で修正が加えられている。主な修正点は次のとおりである。

- (1) 上位目標の上に Super Goal（「天然資源のより良い管理をつうじ住民の生活向上に資する」）を設けた。これは、上位目標を国家計画（第9次国家経済社会開発計画）に繋げる橋渡しの役割を果たすものである。
- (2) 上位目標とプロジェクト目標がそれぞれ修正されているが、表現上の差異に過ぎない。とくに、プロジェクト目標には土壌や水の保全に関する表現が追加されているが、これは森林局の上位機関である環境省が砂漠化防止対策など乾燥地域の環境保全を最重要課題としている政策の現れである。
- (3) 成果（Output）については活動（Activities）の項目に対応した形で、小規模住民活動（Micro-realization；MRL）などが細かく書き表されている。本プロジェクトでは、村落林業・村落振興普及モデルが対象エリアで開発され定着することをプロジェクト目標としているが、このモデルとは本 PDM にあげられている成果が達成されるまでの全ての過程と成果そのものの総体を意味する。従って、各々の小規模住民活動で実施された結果としての「もの」も成果に含まれていると考えている。
- (4) 活動の項目については、R/D のマスタープランにあった「村落林業・村落振興モデルの実証」を「対象エリア外でのモデルの試行」に修正した。これは本プロジェクトが立ち上げの時点で大統領選挙などにより遅れを生じたため、当初計画（モデル開発：3年間、モデル実証：2年間）どおり協力期間内でモデル実証を終了することが極めて困難と見

込まれるためである。しかしながら、モデルの実証は極めて重要であるため、プロジェクト活動として「対象エリア外でのモデルの試行」を行うこととした。これにより協力終了後もセネガル側独自で活動を継続し、モデル実証が完了されることを期待する。

なお、本 PDM および PO は中央政府レベルのものであり、モデル開発の対象エリアごとの具体的な活動については、住民参加のもとに策定されるテロワール開発管理計画（PAGT）の中で確定することとなる。また、各指標の数値についても、現時点では未確定であり Xha、Xkm など表現されているが、PAGT 策定時に確定することとなる。本 PDM および PO が現時点でドラフトの位置付けにあるのはそのためであり、各数値が確定した後に正式の PDM および PO となる。

3 暫定実施計画の進捗状況

3 - 1 各協力分野の進捗状況

3 - 1 - 1 村落振興

(1) 対象村落群（テロワール）選定

対象地域（村落群：テロワール^注）は、ダカール州ルフィスク県ジャムニャージョ郡、ファティック州ファティック県フィムラ郡およびカオラック州ニオロ県パオスコト郡の3郡から4地域が選定されている。選定は次の中央レベルの選定基準6項目をベースに各郡ごとの特殊事情を加味してなされている。

- ・ 域内に同様のプロジェクトの介入がないこと
- ・ 水源が確保できること
- ・ 住民間の紛争がないこと
- ・ 自然環境の明らかな劣化が認められること
- ・ 住民が自然資源管理に係る活動を既に行っていること（関心・意欲があること）
- ・ 住民に組織だった活動の経験があること（一定の管理・運営能力があること）

2000年8月までに2郡から3つのテロワールが選定された。近日中に残る1郡1ヶ所のテロワールが選ばれる予定である。選定されたテロワールの概況は、表1-1及び1-2に示すとおりである。

今後4テロワールにおいて、総合農村普及センター（CERP）スタッフが中心となり、参加型農村調査を実施し、PAGTを作成する。

3 - 1 - 2 村落林業

現在、各対象地域ごとの森林植生など自然環境の状況やこれまでの村落レベルの活動について、担当の森林局スタッフからの聞き取りや現地視察により調査を進めている。

3 - 1 - 3 社会・ジェンダー

本年7月にCERPスタッフ30名を対象としてジェンダー研修を実施した。この研修では、ジェンダーに関する基本的な知識やプロジェクト計画作成・実施にあたってのジェンダー配慮、ジェンダーアプローチ等について講義・グループワークなどを行った。

また、本年10月に実施を予定しているCERPスタッフを対象とした参加型農村調査手法（MARP）研修の準備作業を進めている。

^注 テロワールとは、歴史・社会的背景や自然・地理的条件、生産システム等のうえで一つのまとまりをなす、一つまたは複数の村落（village）を含む地域をさす。

表 1 - 1 村落郡（テロワール）概況

州・県・郡	村落共同体	CERP	面積 (km ²)	人口	世帯数	全村落数	うち対象村落数 (テロワール)	備考
Dakar州Rufisque県Diarniadio郡								
	Yene	Sebikotane		31,101	2,027	26	検討中	
	Sangalkam	Bambylor		23,106		25		
		合計	335	54,207		51		
Fatick州Fatick県Fimela郡								
	Fimela	Fimela	369	13,418	1,104	15	3	A
	Djilas		325	10,960	1,026	10		
	Lous Sessene		328	12,410	717	12		
	Palmarin Fakao		93	5,061	269	6		
		合計	1,115	41,849		43		
Kaolack州Nioro県Poscoto郡								
	Prokhane	Paoscoto	250	15,236	1,246	56	4	B
	Paoscoto		425	28,862	1,980	129	5	C
	Taiba Niassene		125	11,832	703	25		
	Guente Khaye		154	15,167	976	41		
		合計	954	71,097		251		

出所：Superficies et effectifs des populations des entites administratives, January, 2000.

表 1 - 2 各テロワールの村落名及び人口

A テロワール・フィメラ		
	Fimela	1,751
	Djilor	488
	Yayem	930
	合計	3,169
B テロワール・マンビ		
	Keur Birame Dia	354
	Keur Nalla	240
	Keur War	298
	Mambi Wolof	204
	合計	1,096
C テロワール・フィルギ		
	Firgui	280
	Firgui Gavane	172
	Keur Abdon Boury	319
	Bahou	532
	Ndemene	544
	合計	1,847

3 - 2 建物施設等

プロジェクト本部・専門家執務室として、無償資金協力で建設された事務所を使用している。プロジェクト開始以降事務用機材などを整備し、本部事務所の環境も概ね整った。

3 - 3 専門家派遣

チーフアドバイザー / 村落振興、業務調整 / 社会・ジェンダー、村落林業の各分野を担当する3名の長期専門家が派遣されている。

短期専門家については、本調査団派遣にあわせて PCM 手法の専門家を派遣し、PDM・PO・APO をとりまとめた。また、本年 10 月から普及教育手法分野の短期専門家を3ヵ月間派遣し、普及手法に関する指導を行う予定である。

3 - 4 研修員受入

昨年度1名（プロジェクトマネージャー）、今年度1名（林業行政・林業普及）を受入れ、JICA のプロジェクト運営、業務、日本における林業の現状等について研修を行った。今年度後半には、森林局長の研修を予定している。

3 - 5 資機材供与及び利用状況

プロジェクト開始以降、車両、普及用バイク、事務所機材（パソコン等）等を整備し、概ね良好に管理・利用されている。

3 - 6 ローカルコスト負担事業

本プロジェクトでは、現地適用化事業（施設等整備及び現地適用化活動）の実施を通じて、各種研修、小規模住民活動を支援することとしている。プロジェクト立ち上げの時期に大統領選挙により大きな影響を受け、1 年目前半の活動計画が全体的に大幅に遅れたが、年度後半から本格的に動き出す予定である。

4 活動計画 (Plan of Operation)

活動計画の要点をまとめると、以下のとおりとなる（付属資料 1～4 参照）。

(1) 各種訓練セミナーの実施

成果 1 の「天然資源管理とコミュニケーションに関して、地域住民と技術員の潜在能力が強化される」を達成するために、各種訓練活動（1 - 1 から 1 - 5）および小活動（1 - 1 - 1 から 1 - 5 - 2）が実施される計画となっている。主要な訓練内容としては、参加型アプローチ、土地利用図・地図作り、小規模事業実施法、林業・農業技術、改良かまど作り、ジェンダー関連、参加型農村調査手法（MARP 手法）などである。これらの訓練活動の多くは、年次の早い時点で実施されることが計画されており、プロジェクト実施上必要な基礎技術と基本知識を、訓練セミナーを通して紹介して今後の実地訓練の下地となる能力を身に付けることを意図している。

(2) 事業管理運営体制と機構の整備

成果 2 の「森林局と総合農村普及センターの事業運営能力が向上する」を達成するために、各種マネジメント訓練とともに、各種実行委員会の創設や協定書の調印などの事業実施機構作り、責任と役割の再分担・明確化、モニタリングと事業評価のシステム作りなどが 2000 年内に着手される予定である。これらの活動群も、上記訓練活動同様、年次の早い時期に実施される予定となっている。

(3) 基礎データ・情報の収集と土地利用図等の作成

各種事業の実施、モニタリング、評価の上で重要となるベースラインデータの収集と土地利用図などの各種地図の作成が、上記訓練活動や組織能力向上活動と平行して実施される（活動 2 - 1、5 - 1）。これらの活動の成果品は、下記のテロワール開発管理計画（PAGT）策定上の必要情報ともなる重要なものであり、2000 年 10 月ごろから開始される（実施協議調査団報告書にある活動計画表では、4 月から開始される予定であった）。

(4) テロワール開発管理計画（PAGT）の策定

2001 年 1 月末に完成予定である PAGT（小活動 2 - 4 - 1）は、本プロジェクトの初期における特に重要な成果品といえる。地域レベルの事業計画である PAGT を策定するために、住民参加型の現況評定・計画立案手法である「MARP」の訓練が行われ、上記基礎データや各種地図、MARP を活用した住民とのワークショップによって PAGT は策定される。PAGT は、本プロジェクトが今後実施してゆくテロワールごとの事業内容を示す重要な計

画書となる。また、PAGT の策定を通して、ニーズ調査や計画立案手法、住民組織化の要領、コミュニケーション技術などに係る組織的・人的能力が実施機関、協力機関、地域住民に定着することが期待される。

(5) 住民意識向上活動

2000年12月より各種の住民意識向上活動が計画されている。本プロジェクトは住民主導による村落林業・村落振興事業であるので、プロジェクトを通して実施される各事業には、住民の先導と積極的な参加が不可欠である。そのためには、住民が本事業の重要性を理解し、自らの問題解決としてオーナーシップの意識を持つきっかけとなる意識向上活動を行うことが重要である。そこで、下記の各種事業実施活動、小規模土木事業に先立ち、小規模植林、天然更新、マングローブの小規模リハビリ、土地保全、牧草耕作、不法伐採、低木林火災などに係る住民意識向上（小活動6-3-2、7-1-1、7-2-1、7-3-1、7-4-1、7-5-1、7-6-1、8-3-1）のセミナー開催や、出版物の作成・配布、ラジオ放送の利用を行う予定となっている。

プロジェクトの進捗が遅れているために、上記(1)～(4)の活動がずれ込み、住民意識向上の活動群と実施時期が重なってきているため、与えられた人的・物的資源で予定通り活動できるか否か再検討に値すると思われる。

(6) 住民主導による各種事業実施活動、小規模土木事業の準備と実施

協議議事録に添付されているPDM(案)の「プロジェクト目標」を達成するために、必要不可欠な成果として「成果1」から「成果9」までが確認されたが、そのうち成果4から9に関して小規模土木事業を含む各種活動の実施が計画されている。主な事業実施活動としては、アグロフォレストリーの導入、集約農業の導入、土壌保全・土壌再生のための小規模土木事業、植林や土地保全を含む植生回復活動、低木林火災の防止、塩害対策のための予備調査、水確保のための予備調査と小規模土木事業、住民の事業参加動機を創出するための小規模事業などである。これらの事業は、基本的には上記(1)～(5)の活動が軌道に乗った後に実施されることが望ましいが、残されたプロジェクト期間を考慮した計画となっている。各事業の実施のタイミングに関しては、対象テロワールの現況やニーズ・優先順位などをもとに、テロワールごとに対応してゆくべきであろう。対象テロワールの現況やニーズは、上記PAGTの策定過程で明らかになり、PAGTで説明されるはずである。PAGT策定が2001年1月末の予定なので、事業実施活動はそれ以降に本格化することとなる。

5 事業運営上の問題点

- (1) ダカール～フィメラ～カオラックを結ぶ幹線道路は整備の状態が良く、通行に不自由はない。しかしながら、幹線から外れた地方道は通常、整備状況が極端に悪くプロジェクト活動の支障となるおそれがある。また、地方道の通行には十分な安全上の注意を要する。
- (2) 本プロジェクトのような住民参加型活動をスムーズに実行するためには、専門家および C/P が頻繁に対象村落に入り、きめ細かく住民と接触することが極めて重要である。しかしながら、現場 C/P 等が配置されている県・郡レベルの森林局や総合農村普及センター（CERP）には満足な車両が配備されておらず、C/P 等の動きが大幅に制限されることとなる。今後、プロジェクト活動が本格化する段階で、この点への十分な配慮が望まれる。
- (3) 本プロジェクトの成果の持続性を考える場合、協力期間終了後は青年海外協力隊を派遣し、プロジェクト活動のフォローに当たらせることも効果があると考えられる。今後、協力隊派遣の可能性について検討する必要がある。

6 調査団所見

(1) 今回のワークショップでは、プロジェクトの活動項目として住民の生活向上を直接の目的とする村落振興の活動より、むしろ自然環境保全を目的とする活動が数多く提案されていることが注目される。具体的には、土壌の侵食防止、土地の塩害対策、森林火災対策、荒廃マングローブ地域のリハビリテーションなどである。また、環境大臣から直接話を聞く機会を得たが、大臣は砂漠化防止対策などの環境保全に最大の関心を寄せており、これは上記のワークショップの流れを裏付けるものである。

今後、プロジェクト・サイトにおいて住民参加活動を活発化させるためには、これらの自然環境保全活動がどのような形で住民の生活向上に結びつくのか深く検討する必要がある。

(2) PDM で提案されたさまざまな活動は小規模住民活動と呼ばれ、セネガルではすでに各地域で実施され活動実績を有するもので、今後新たな技術開発を要するものではない。また、事業規模も各村落単位で実施可能な小規模なものである。これは今回フィメラのプロジェクトサイトや FAO の支援による村落振興プロジェクト (PREVINOBA) の現地 2 ヶ所の視察とワークショップ参加者の話などから確認することができた。

今回視察した PREVINOBA プロジェクトの村落 (Baback 村) では、ガリー荒廃箇所への石積みによる小流域の侵食拡大防止や灌木 (*Euphorbia* spp.) の列状植栽 (グリーンベルト) による表層土壌の流亡阻止の活動を行っていた。これらにより地域の水土保持が図られ、住民の農地が大幅に拡大した。つまり、自然環境保全と村落振興が同時に達成されたケースであり、本プロジェクトの活動にも参考となる活動事例である。また、ある村 (Panbal 村) ではプロジェクトの苗畑が中心となり周辺の村に住民苗畑を造成する支援を行っている。住民苗畑で造成された様々な樹種の苗木は販売され現金収入をもたらす。この活動は比較的短期間に住民の所得向上に資するため、住民の参加がえられやすいという示唆を含んでいる。

(3) 本 PDM では協力期間内にモデルの実証を完了することとなっていない。これは、前述のとおり、対象エリアでのモデル開発に時間がかかり、残された協力期間で実証を完了することが困難となるためである。プロジェクト協力期間内には、対象エリア外での実施箇所の選定、関係者への訓練、いくつかの小規模住民活動の試行など準備的活動のサポートを行うこととし、その後の実証完了までの活動はセネガル側の努力に期待することとなる。従って、協力終了時の C/P 機関の自立性が極めて重要となる。

(4) 今回の調査をつうじ、セネガル側の C/P をはじめ関係者の本プロジェクトに寄せる期待は大きく、また、今後積極的な参加と協力が期待できるという印象を持った。とくに PCM ワークショップの実施により参加関係者の意欲は高まっている。今後、専門家および C/P はすみやかに活動対象エリアに入り、村落レベルの活動を具体的に進めていくことが期待される。

付 属 資 料

- 1 協議議事録 (Minutes of Meeting) 英文
- 2 協議議事録 (PROCES-VERBAL DE LA REUNION) 仏文
- 3 PDM 及び PO 和文仮訳
- 4 年次活動計画 (Annual Plan of Operation) 案及び和文仮訳
- 5 プロジェクト実施体制
- 6 カウンターパートリスト

THE MINUTES OF MEETING
BETWEEN THE JAPANESE MANAGEMENT CONSULTATION TEAM AND
AUTHORITIES CONCERNED OF
THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF SENEGAL
ON THE TECHNICAL COOPERATION
FOR THE INTEGRATED COMMUNITY FORESTRY DEVELOPMENT PROJET

The Japanese Management Consultation Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Hideki Miyakawa, Deputy Managing Director, Forestry and Natural Environment Department, JICA, visited the Republic of Senegal for the purpose of making "Monitoring and Evaluation Plan" on the Integrated Community Forestry Development Project (hereinafter referred to as "the Project").

During its stay in the Republic of Senegal, the Team held a series of discussion and exchanged views with the authorities concerned of the Government of the Republic of Senegal and conducted a field survey of the Project sites.

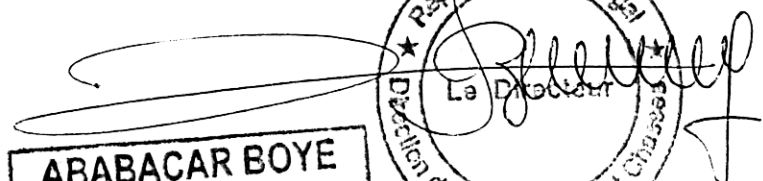
As a result of the discussions and the field survey, the Team and the Senegalese authorities reached a mutual understanding of which are recorded in the document attached hereto.

Done in duplicate in the French and English language, each text is equally authentic. In case of any divergence of interpretation, the English text shall prevail.

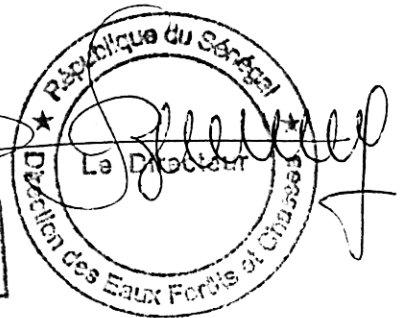
Dakar, 18th August, 2000



Mr. Hideki Miyakawa
Leader
Management Consultation Team
Japan International Cooperation Agency
Japan

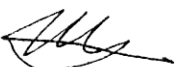

ABABACAR BOYE
Ingénieur des Eaux et Forêts

Mr. Ndiawar Dieng
Director
Direction of Water, Forests, Hunting and Soil
Conservation
Ministry of Environment
Republic of Senegal



ATTACHED DOCUMENT

1. Monitoring and Evaluation Plan was prepared and confirmed as shown in Annex.
2. Project Design Matrix (PDM) and Plan of Operation (PO) were drafted based on the discussion in the Project Cycle Management (PCM) Workshop as shown in attachments 1 and 2 in the Monitoring and Evaluation Plan. Both Japanese and Senegalese sides will further examine the draft PDM and PO taking the following points into consideration;
 - (1) Justification to revise the Master Plan of the Record of Discussions as the Narrative Summary of PDM.
 - (2) Appropriateness of Narrative Summary and Indicators of outputs of PDM and PO.



Monitoring and Evaluation Plan

18th August, 2000

Name of the project	Integrated Community Forestry Development Project in Senegal
Project period	15 th January, 2000 to 14 th January, 2005
Implementing Organization	Direction of Water, Forests, Hunting and Soil Conservation (DEFCCS), Ministry of Environment
Project Director	Director of DEFCCS

I. Project Design

1. Project Design Matrix (PDM draft- Attachment 1)

Based on Record of Discussions (R/D) and Tentative Schedule of Implementation (TSI) signed on 26th August, 1999, PDM was formulated by both Japanese Project Team and Senegalese counterparts in consultation with the Management Consultation Team, through the Project Cycle Management workshop held on 7th August to 12th August, 2000.

2. Plan of Operations (PO draft- Attachment 2)

Based on R/D and TSI, PO was formulated also by the discussion of both Japanese Project Team and Senegalese counterparts in consultation with the Management Consultation Team.

II. Organization for Monitoring and Evaluation

1. Monitoring

Organization for monitoring shall be composed by the member of the Project, since the main purpose of monitoring is to feedback the results of monitoring into project in order to improve the operation and management of the on-going project. The members of the organization are basically as follows:

Senegalese Side;

(1) Responsible person in general : Project Manager

(2) Personnel in charge of the following technical fields; Community Development, Community Forestry, and Gender / Equity

Japanese Side;

(1) Responsible person in general : Chief Advisor

(2) Experts dispatched

2. Evaluation

Intermediate and final evaluation will be carried out by joint evaluation team, consisting of the Senegalese evaluation team and Japanese evaluation team. Japanese evaluation team will be dispatched by JICA. The members of the Senegalese evaluation team will be representative(s) of Director of DEFCCS, Project Manager, representative(s) of Direction of Economic Cooperation and Finance, Ministry of Finance and representative(s) of Direction of Social Welfare, Ministry of Family and National Solidarity.

III. Monitoring and Evaluation Schedule

Date	Activities	Person/organization in charge	Reporting method
Aug, 1999	R/D agreement		
Jan, 2000	Start of cooperation		
Aug, 2000	Formulation of PDM, PO and Monitoring and Evaluation Plan	Project Team and Management Consultation Team	Minutes of Meeting
Dec, 2000	1st Monitoring	Project Team	Monitoring Report
June, 2001	2nd Monitoring	Project Team	Monitoring Report
Dec, 2001	3rd Monitoring	Project Team	Monitoring Report
June, 2002	4th Monitoring	Project Team	Monitoring Report
Nov to Dec, 2002	Intermediate Evaluation	Joint Evaluation Team	Minutes of Meeting
June, 2003	5th Monitoring	Project Team	Monitoring Report
Dec, 2003	6th Monitoring	Project Team	Monitoring Report
July, 2004	Final Evaluation	Joint Evaluation Team	Minutes of Meeting
Jan, 2005	End of the Project		

IV. Monitoring and Evaluation Items

1. Monitoring Items

- (1) Monitoring Report; Monitoring Report will be prepared to examine the progress of each activity, constraints and countermeasures, changes in conditions and achievement of outputs by the time of the monitoring.
- (2) Project Achievement Chart; To examine the achievement of each activity in the PO, the Project Achievement Chart will be also compiled at the time of monitoring (Attachment 3).

2. Evaluation Items

The outline of the evaluation criteria and its check points are shown in Attachment 4

Draft Project Design Matrix (PDM) : Integrated Community Forestry Development Project (PRODEFI)

Target Areas: 4 territories (Firgui, Mamby, Fimela, CR de Yenne) Partners: CERP, Rural Council, local administrations, local people Duration : January 15, 2000~January 14, 2005
 Executing agencies: DEFCCS, JICA Beneficiary : Local people

NARRATIVE SUMMARY	OBJECTIVELY VERIFIABLE INDICATORS	MEANS OF VERIFICATIONS	IMPORTANT ASSUMPTIONS
<p>SUPER GOAL</p> <p>To contribute the improvement of living standards through better management of natural resources</p>			
<p>OVERALL GOAL</p> <p>The model for community forestry and community development, which was elaborated during the project period, is widely extended to outside the target areas</p>	<p>Number of territories where the model is applied increased by X by year 200X</p>	<p>Field visits, reports and impact survey</p>	
<p>PROJECT PURPOSE</p> <p>A model for community forestry and community development led by local people is promoted within the target areas for the regeneration of soils and availability of water</p>	<p>1 A final report that illustrates comprehensive approach and methodology in respect of community forestry and community development is produced</p> <p>2 75 % of micro projects planned in PAGT are completed</p> <p>3 X % of beneficiaries satisfy with the project</p>	<p>1 Final report</p> <p>2 Field visits and report</p> <p>3 Final evaluation (interviews and questionnaires)</p>	<p>C/P remains in their positions</p>
<p>OUTPUTS</p> <p>1 The capability of local people and technical staff is strengthened in terms of the management of natural resources and communication</p> <p>2 Project management capability of DEFCCS and CERP is improved</p> <p>3 Technical and management manuals are produced</p> <p>4 Appropriate farming techniques are implemented</p> <p>5 The land management is improved</p> <p>6 The prevention measures against soil erosion by rain and wind are undertaken</p> <p>7 Concrete actions aiming at the regeneration of vegetation are carried out</p> <p>8 Salt advance is reduced, and some salty lands are recovered</p> <p>9 Access to water is improved</p>	<p>At the end of the project, X % of trainees implement the natural resource management and communication techniques introduced through the training programs</p> <p>Activities, monitoring and evaluation are implemented as planned</p> <p>X manuals</p> <p>At the end of the project, at least X % of farmers use at least 2 farming techniques introduced by the project</p> <p>By the second year of the project, PAGT (Territory Development and Management Plan) is prepared for each territory, and the lands for various activities are allocated in X % of territories</p> <p>1 Anti-erosion facilities are built in X % of the sites that are subjected to erosion</p> <p>2 X % of anti-erosion facilities planned in PAGT are built</p> <p>1 X ha was newly reforested per year</p> <p>2 X ha was newly protected per year</p> <p>3 Fodder cultivation coverage increased X ha per year</p> <p>X ha of salty lands are recovered</p> <p>X % of local people feel easier access to water</p>	<p>Records, field visits and reports</p> <p>Project Achievement Chart</p> <p>Manuals</p> <p>Tech. monitoring sheets, field visits & report</p> <p>Land use maps and PAGT</p> <p>1 Land use maps, field visits and reports</p> <p>2 Field visits and reports</p> <p>Field visits and reports and land use maps</p> <p>Field visits and reports</p> <p>Survey, field visits and reports</p>	

ACTIVITIES	INPUTS	IMPORTANT ASSUMPTIONS
<p>(Output 1: The capability of local people and technical staff is strengthened in terms of the management of natural resources and communication techniques.)</p> <p>1-1 Training on communication techniques, instruction, popularization</p> <p>1-2 Training on the technical packages</p> <p>1-3 Teach local peoples how to read and write</p> <p>1-4 Gender training</p> <p>1-5 Training on territory management</p> <p>1-6 Trial of elaborated model outside the target areas</p> <p>(Output2: Project management capability of DEFCCS and CERP is improved)</p> <p>2-1 Baseline survey</p> <p>2-2 Management training</p> <p>2-3 Institutional restructuring</p> <p>2-4 Preparation and implementation of PAGT (Territory Development and Management Plan)</p> <p>2-5 Set up improved monitoring and evaluation systems</p> <p>2-6 Execution of monitoring and evaluation</p> <p>(Output 3: Technical and management manuals are produced)</p> <p>3-1 Compilation of manuals</p> <p>(Output 4: Appropriate farming techniques are implemented)</p> <p>4-1 Introduction of agroforestry</p> <p>4-2 Introduction of intensive farming</p> <p>4-3 Soil preservation and regeneration actions (construction of stone belts, dikes, and stick belts)</p> <p>(Output 5: The land management is improved)</p> <p>5-1 Preparing and publishing maps</p> <p>5-2 Popularization of laws and regulations of state-owned lands and livestock tracks</p> <p>(Output 6: The prevention measures against soil erosion by rain and wind are undertaken)</p> <p>6-1 Soil preservation and regeneration actions</p> <p>6-2 Reforestation and regeneration of vegetation</p> <p>6-3 Prevention of bush fires</p> <p>6-4 Introduction of agroforestry (set up quickset hedges, windbreak, field plantation)</p> <p>6-5 Provision of incentives especially for women and youths</p>	<p>SENEGAL SIDE</p> <ul style="list-style-type: none"> * C/P (Project Director, Project Manager, Community Forestry, Community Development, Gender and Equity) and other necessary supporting staff and administrative personnel * Project office * Operation costs * Land for activities * Regional nurseries <p>JAPAN SIDE</p> <ul style="list-style-type: none"> * 3 long-term experts (Chief Advisor, Coordinator, Community Forestry, Community Development and Gender and Equity) and short-term experts (approximately 2 experts per year) * Necessary equipment and materials * Vehicles * Local cost support * C/P training 	<p>No drastic decline of rainfall</p> <p>No drastic devaluation of currency</p> <p>Other infrastructure is maintained</p> <p>No obvious conflicts among beneficiaries</p>
		<p>PRECONDITIONS</p> <p>Political stability</p>

<p>ACTIVITIES</p> <p>(Output 7: Concrete actions aiming at the regeneration of vegetation are carried out)</p> <ul style="list-style-type: none">7-1 Reforestation7-2 Assisted natural regeneration7-3 Protection of lands7-4 Fodder cultivation7-5 Prevention of illegal cutting of trees7-6 Prevention of bush fires7-7 Provision of incentives especially for women and youths <p>(Output 8 : Salt advance is reduced, and some salty lands are recovered)</p> <ul style="list-style-type: none">8-1 Construction of salt-prevention dikes, small dikes and stone-belts8-2 Reforestation8-3 Rehabilitation of mangrove8-4 Provision of incentives especially for women and youths <p>(Output 9: Access to water is improved)</p> <ul style="list-style-type: none">9-1 Boring and scouring of wells9-2 Rehabilitation of ponds9-3 Construction of water-retaining facilities9-4 Creation of water conveyance	
--	--

Note: This draft PDM is the description of the project framework of PRODEFI as a whole. Activities listed from 4-1 to 9-4 will be implemented at least in one target territory, but not necessarily every territory. PAGT (Territory Development and Management Plan) will be finalized by the end of January, 2001.

Evaluation Items

1 Achievement of the Project

The achievement level of the project activities in terms of inputs, activities, outputs and project purpose, as the Achievement of the Project, is assessed in comparison with the original plan such as R/D, TSI, PDM and PO.

1-1 Inputs

- (1) Accomplishment of the inputs from Japanese side in comparison with the plan
- (2) Accomplishment of the inputs from Senegalese side in comparison with the plan

1-2 Activities

- (1) Progress of the activities and the results of corresponding targets in PO
- (2) Degree of difference between the plan and actual condition
- (3) Reasons and constraints for the slipping and postponement

1-3 Output

- (1) Achievement level of the outputs planned on the PDM

1-4 Project Purpose

- (1) Achievement level of the project purpose planned on the PDM

2 Evaluation criteria

2-1 Efficiency

Efficiency of the project implementation is assessed by analyzing the productivity of the implementing process. It is to evaluate the relationship between outputs and inputs in terms of timing, quality and quantity, and to reexamine availability if alternatives strategy to produce the outputs more efficiently. The evaluation questions to be checked are considered as follows:

(1) Timing, quality and quantity of inputs

- Have the inputs been delivered on schedule?
- Is the timing of the inputs assumed to have been appropriate in comparison with the outputs obtained?
- Are the quality and quantity of the inputs assumed to have been appropriate in comparison with the outputs obtained?

(2) Relationship between outputs and inputs

- Have the outputs been attained on schedule?
- Are there any differences between the original plan?
- Do counterparts have enough knowledge and experiences developed through the Project?
- What factors can be considered to cause delay or obstructs the realization of the outputs?

(3) Linkage between other cooperation schemes

2-2 Effectiveness

Effectiveness is assessed by analyzing the extent to which the outputs and project purpose of the Project have been achieved or/and can be expected to be achieved at the time of evaluation. The evaluation questions to be checked are considered as follows:

(1) Project purpose

- To what extent has the project purpose been achieved in comparison with the achievement of the outputs?
- To what extent have outputs contributed to the achievement of project purpose?
- What factors can be considered to cause delay or obstructs the realization of the project purpose?
- When will the project purpose be attained?

(2) Outputs

- To what extent has the outputs been achieved?
- How much have the activities been proceeded on schedule of the initial plan?
- To what extent have the activities contributed to the achievement of the outputs?
- Are there any outputs and activities have been changed during the Project?

(3) Important assumptions

2-3 Impact

Impact of the project activities will be identified by focusing mainly on positive and negative impacts caused by the Project, which are not originally expected in the project plan. The evaluation questions to be checked are considered as follows:

- Has project purpose contributed to the realization of the overall goal?
- Are there any impacts on social, economical, institutional and environmental aspects predicted by the continuation of the Project?
- What are the causes for the impacts which will be occurred?

2-4 Relevance

Relevance is clarified by examining whether the outputs, project purpose and overall goal are still in keeping with the needs of the beneficiaries and the development policy of the Republic of Senegal at the time of the evaluation. The rationale of the Project, especially the relationships between each item in the narrative summary, is also reviewed on the PDM. The evaluation questions to be checked are considered as follows:

(1) Overall goal

- Is the overall goal consistent with the Government policy, such as National Development Plan?
- Is the overall goal consistent with needs of the beneficiaries?

(2) Project purpose

- Does the project purpose contribute to the achievement of the overall goal?
- Is the project purpose consistent with the objectives of the implementing organization?

(3) Relationships between outputs, activities and inputs

- Are relationships between outputs, activities and inputs appropriate?
- Are the outputs, activities and inputs adequate for achievement of the project purpose?

2-5 Sustainability

Sustainability of the Project is clarified by examining whether the project activities and benefits are likely to continue after the Project is completed. It will be forecasted by examining the institutional and management capacity, financial condition, technical ability, ownership of the implementing organization, etc. The evaluation questions to be checked are considered as follows:

(1) Institutional aspect

- Has the implementing organization obtained the ability to continue the activities?
- Is it expected the Government will continue to support?
- Is it expected the counterparts will continue to be assigned at the same positions?

(2) Financial aspect

- Has the implementing organization secured necessary financial and human resources for continuing the activities?

(3) Technical aspect

- Will the inputs of the Project, such as facilities, equipment, transferred techniques, etc. be fully utilized after the Project?
- Has the Project developed the techniques which are appropriate for beneficiaries in terms of their technical levels?.
- Have counterparts fully obtained the developed techniques and knowledge?
- Have the Project raised the interest of target communities in community forestry?